# JJ通信第82号（ジェージョンソン）

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

ＪＪ通信 第82号
2012/01/31

ジェー・ジョンソン(株)
■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□


コンテンツ
１．ごあいさつ
２．たわごと
３．翻訳あれこれ
４．用語集
５．お待ちしております


● JJ通信は、お見積のご依頼をいただいた方、資料請求をされた方、

名刺交換をされた方・・・ などの皆様にお送りしています。

（ご迷惑な方には配信を中止します。 こちらまで→ support@j-johnson.co.jp ）

---

## １．ごあいさつ

お世話になっております。 「技術翻訳・ＤＴＰ・印刷」 のジェー・ジョンソンで

ございます。 今月号の JJ通信を配信させていただきます。 お時間が許せば、

是非ご一読下さい。

---

## ２．たわごと

一部のお客様とは、ＥＤＩ （電子商取引）にて、いわゆるペーパレスにて

お取引しておりまして、それはそれで便利なのですが、バーコード付きの

専用の伝票を出力するプリンターがかなり古くなり、いつ壊れるかと

ひやひやしながら使っています。 もう10年以上になるので、事務所の中

で一番古いＯＡ機器なのですが、プリンターって、故障しなければ、15年、

20年と使えるものなのでしょうか。

---

## ３．翻訳 あれこれ

一般に翻訳しにくいケースの中の一つに、文化の差から生じる認識の違いがある

用語の翻訳が挙げられます。

具体的には、有名な例として「虹の色」の話があります。

日本人にとって「虹の色」は？と聞かれれば当然「7色」と答えるのが一般的です。

辞書を調べれば、「赤」、「橙」、「黄」、「緑」、「青」、
「藍」、「紫」と明記してあります。

ところが、日本以外の世界の国々では、決して7色が通例ではというわけでは

ありません。

例えば、英語圏では多くの場合6色で通じます。実際に英語を並べてみますと

red, orange, yellow, green, blue, indigo, violet になりますが、indigo 「藍」が人に

によっては、blueと区別が付かず一緒になっているために6色になっているらし

いのです。

また、ドイツ語圏では5色と答える地方もありますし、さらにアメリカのある有名な

言語学者によれば、インディアンのバサ語を話す人は、虹の色は2色、ショナ語

を話す人にとっては、虹の色は3色とのことです。

さすがに2色や3色と言われると、不思議な感じがしますが、同じ虹の色でも、

国や文化圏によって異なって認識されているのは、驚きです。

このように文化によって異なって認識される用語を翻訳するのは、そのままの

逐語訳ではなく、文化的な背景を考慮した訳文にすることが必要となりますので、

容易ではありません。

しかしながら、このような翻訳するのが難しい箇所こそが、翻訳者の腕の見せ所と思います。

## ４．用語集

＜トルアキ、トルママ＞

校正記号の一つ。対象となる文字を削除して、そのままにしておくこと。

## ５．お待ちしております

翻訳・DTP・印刷に関して、お問合せ、見積依頼、トライアル(試訳）依頼などがございましたら、遠慮なくご連絡下さい。 営業担当が親身になって、迅速に対応させていただきます。

また、JJ通信に関するご意見・ご感想もお待ちしております。

▼配信中止、ご意見、ご感想、その他のご連絡
support@j-johnson.co.jp

▼お問合せフォーム
http://www.j-johnson.co.jp/contact.html

▼翻訳お見積について
http://www.j-johnson.co.jp/estimate.html

▼JJ通信 バックナンバー
http://www.jj-honyaku.net/

---

【 ＪＪ通信 第82号】 2012/01/31 発行

配信中止はこちらまで。 → support@j-johnson.co.jp

■発行者 ： ジェー・ジョンソン株式会社 平石 繁
http://www.j-johnson.co.jp

---

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com